

福岡市博多区
デイサービス
やぐらももん
多彩で本格志向の
アクティビティ。
一人ひとりの利用者の
笑顔を引き出す活動を
提供しています。





管理者の仁泉ひとみさん（写真左）は書道や華道の免許を持つ。楽しみながらも本格的な指導ができるのも「やぐらもん」の強みだ



フラダンスでのゆったりフラ

2010年2月のスケジュール

月	火	水	木	金	土
1 博多情緒めぐり	2 博多情緒めぐり	3 節分祭	4 書道	5 博多笑い塾	6 フラワーアレンジメント
7 ゆったりフラ	8 ケアピクス	9 福岡県警高齢者安全安心生活講習会	10 フラワーアレンジメント	11 ケアピクス	12 英国式リフレクソロジー
13 座ったままでブーツダンシング	14 ゆったりフラ	15 書道	16 博多にわか公演&教室	17 フラワーアレンジメント	18 カラオケ
19 書道	20 福岡県警高齢者安全安心生活講習会	21 博多笑い塾コミックダンス・歌謡ショー	22 ケアピクス	23 映画	24 ゆったりフラ

1日の流れ

- 8:30 送迎(～10:30)
- 9:30 ウェルカムティー・バイタル測定(～11:00)
- 9:45 入浴(～11:45)
- 11:00 リアリティオリエンテーション(～11:30)
- 12:00 昼食・フリータイム(～13:45)
- 12:45 入浴(～14:00)
- 14:00 やぐらもんタイム(～14:45)
- 15:00 お茶・おやつ
- 15:30 トイレ誘導・帰宅準備
- 16:00 送迎

福岡県のJR博多駅から徒歩7分程度。市内の中心部にあるデイサービスやぐらもんを訪ねた。やぐらもんでは、一人ひとりの利用者の笑顔を引き出すかわりのほか、日替わりで実施される多彩なプログラムでの本格的な活動に取り組むことができる。

やぐらもんの特徴は、日替わりで実施されるプログラムの一つひとつが本格志向を目指している点だ。午後から実施される「やぐらもんタイム」は大きく文化系と運動系に分けられており、専門資格を持つスタッフが書道やフラワーアレンジメントを指導するほか、公式の団体や大会優勝者などのプロの指導

者を招いてエンターテインメントを披露するなど、大人の満足を提供するサービスを目指している。

取締役会長の仁泉浩さんは「今の高齢者のリアルなニーズをつかむことが大切。時流に合わせて、提供するサービスも柔軟に変えていく必要があります」と話す。特に近年では、団塊世代の大量退職が始まり、本格的に高齢期へと移行する時代へと変わってきた。一昔前の高齢者とは時代背景もライフスタイルも大きく異なり、一人ひとりが多様な趣味活動に親しんだ世代がデイの利用者となる時代だ。「本物のサービスを経験してきた方々だから、サービスに



博多情緒めぐり
毎月3回ほど、さまざまな名所へ外出する



セラピードッグとの交流

取締役会長の仁泉 浩さん

対する目も厳しい。ただ多くのメニューを実施するのではなく、一つひとつに専門性を持たせ、質の高いサービスを提供することが大切です」と仁泉さんは強調した。

また、外出と機能訓練を兼ねた活動プログラム「博多情緒めぐり」も特徴的だ。文化的名所の多い博多の特性を生かし、近郊の寺院や日本庭園などに毎月3回ほど出かけている。日ごろから屋内で取り組んでいる機能訓練の評価として、歩行状態の観察や体力測定などの運動機能評価を実施する。歴史と文化に触れながらの散策は、屋内では味わえない絶好の

施設の理念・想い

【株式会社 仁コーポレーション 社是】

「以仁尽礼」(仁を以て礼を尽くす)

思いやりの心で、人と向き合い、
礼ある行いを終始、心掛けること

【デイサービスやぐらもんの想い】

笑顔で お越しいただき
笑顔で 過ごされて
笑顔で お帰りいただける
そんな“集いの場”であり続けたい

外部講師による 本格エンターテインメント

- 博多仁和加振興会による
「博多にわか公演」& 「にわか教室」
- NPO法人博多笑い塾所属タレントによる
ものまねショー、歌謡ショー、マジック、
落語、南京玉すだれ など
- 学校法人 福岡安達学園専門学校ビジョナ
リーアーツ アニマルセラピー科より獣医、
講師、学生(10名程度)とセラピードッ
グ(10頭程度) 来訪
など

訓練になるという。

ほかにも、「ウィークリーレポート」として、ご利用者ごとに1週間分の活動状況を写真にまとめてご家族へ提供している。「団塊世代へのアプローチとして、ご家族へ安心を提供することが重要と考えます。自分の家族がデイサービスでどのように過ごしているか写真に撮ってお渡しすることで、ご家族には安心を、ご利用者さまには思い出をお届けしています」



言語聴覚士による嚥下指導
“なぜ大切なのか”という根拠を説明することで、
生活上の意識を高めていただくのがねらい



ウィークリーレポート
写真にしてご家族に渡すことで活動の様子も分かりやすい
毎月500~750枚以上の写真が撮影される



カントリーダンス
世界チャンピオンRIKA先生のブーツダンス



博多仁和加振興会 古賀おそ松理事長

市内で暮らしている白鳥トモエさん（86）は「ここへ来て、人とかかわることが一番幸せ。人は人とかわりあって、お互いに幸せをもらえるんです」と話す。

なにより介護サービスはホスピタリティー（心からのおもてなし）の精神が大切と仁泉さん。「ご利用者を過剰にもてはやすのではなく、大人としての満足を引き出すことが私たちスタッフの役割」という。

今後の展望として、2010年9月には福岡市東区に2号店を出店し、失語症デイの設立や、地域の公民

館で言語聴覚士や理学療法士による相談支援事業を開くなど、地域の福祉ニーズに対応していく構えだ。

また、デイサービスの基本理念にある「笑顔」の上に「感動の涙」も重要なキーワードだと仁泉さんは話す。

「普段のサービスで笑顔になることはあっても、感動して涙が出ることは滅多にありません。難しい目標だと思いますが、笑顔のさらに先にある目標として、涙の出るようなサービスを目指していきたいですね」

施設DATA

デイサービスやぐらもん

〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町2番18号
TEL & FAX. 092-262-9333

- 営業日時／9時30分～16時30分
- 定員／20名
- 職員総数／9名（管理者…1名、言語聴覚士…1名、理学療法士…1名）
（看護職…2名、介護職…3名、生活相談員…1名）

